

## 第5回中部圏大深度地下使用協議会の審議概要について

1. 平成 18 年1月30日(月)14時30分より、名古屋合同庁舎第2号館において、第5回中部圏大深度地下使用協議会が開催された。
2. 協議会においては、大深度地下をめぐる最近の状況等について及び大深度地下関連調査事業の進捗状況等について説明が行われた。その主な内容は、以下の通り。
  - \* 最近の状況においては、神戸市大容量送水管整備事業で、昨年8月に神戸市が事業概要書を提出し、手続きが開始されたこと。その他、大深度地下をめぐる最近の状況に関して、首都圏の地下の利用状況等の説明がなされた。
  - \* 大深度地下関連調査においては、大深度と浅深度地下利用のコスト比較(中間報告)の概略、地下空間の活用事例、技術ハンドブック(中間報告)の概略の説明がなされた。
  - \* その他の事項として、東京外かく環状道路について、現時点における計画の具体化に向けての検討状況についての説明がなされた。
3. 協議会における主な質疑応答

### (1)大深度地下をめぐる最近の状況等

#### \* 神戸市大容量送水管整備事業について

大深度地下を活用したことによる地域住民等の反応については、従来より、神戸市から当該事業の説明とともに、大震災をふまえた大深度地下における必要性等についても説明していたこともあり、特段の意見は出ていない。

### (2)大深度地下関連調査事業の進捗状況

#### \* 大深度と浅深度地下利用のコスト比較の中間報告について

大深度地下を利用した場合と浅深度地下を利用した場合におけるコストの比較について、今後、建設コストのみでなく事業完了後の維持管理費等を考慮した長期的な検討も行っていきたい。